

製品名: PARP1 (10C2) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03588**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	腹水

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 113 kDa; Observed MW: 116 kDa

抗原情報

遺伝子名	PARP1 PARP1; ADPRT; PPOL; Poly [ADP-ribose] polymerase 1; PARP-1; ADP-ribosyltransferase
別名	diphtheria toxin-like 1; ARTD1; NAD(+) ADP-ribosyltransferase 1; ADPRT 1; Poly[ADP-ribose] synthase 1
遺伝子 ID	142
SwissProt ID	P09874
免疫原	ヒト PARP の合成ペプチド

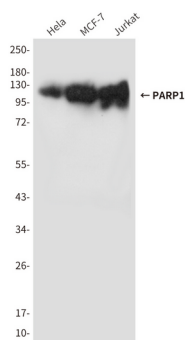
背景

塩基除去修復 (BER) 経路に関与し、クロマチン構造および DNA 代謝に関与する限られた数の受容体タンパク質のポリ (ADP-リボシル) 化を触媒する。この修飾は DNA 損傷後に起こり、DNA 鎖切断の修復につながる検出 / シグナル伝達経路における必須のステップとして機能している。

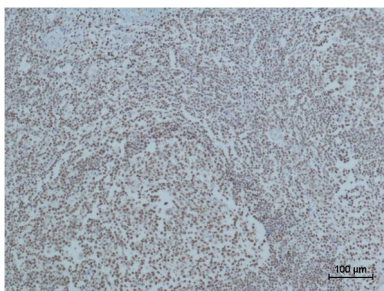
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

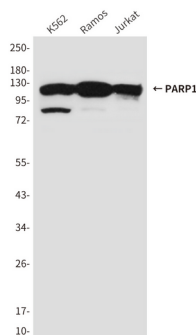
画像データ



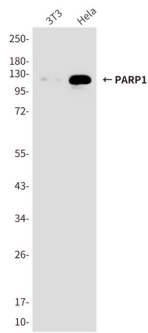
PARP (10C2) 抗体を使用した HeLa、MCF-7、Jurkat 溶解物中の PARP1 (10C2) のウエスタンブロット分析。



切断された PARP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



PARP (10C2) 抗体を使用した K562、Ramos、Jurkat 溶解物中の PARP1 (10C2) のウエスタンブロット分析。



PARP1 (10C2) 抗体を用いた 3T3、HeLa ライセート中の PARP1 (10C2) のウェスタンブロット分析